

2020年3月期第2四半期 決算説明会

2019年11月14日
宝ホールディングス株式会社

本日の内容

I. 2020年3月期 第2四半期決算 および 2020年3月期 通期業績予想

(発表者：取締役 森 圭助)

1. 2020年3月期 第2四半期決算
2. 2020年3月期 通期業績予想

II. 2020年3月期 事業戦略

(発表者：代表取締役社長 木村 睦)

1. 「宝グループ中期経営2019」進捗状況
2. 宝酒造（国内事業）
3. 宝酒造インターナショナルグループ（海外事業）
4. 経営基盤の強化

<参考資料> 為替レート、粗留アルコール輸入通関（CIF）価格の推移

1. 2020年3月期 第2四半期決算

2020年3月期 第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期累計期間 連結損益計算書（売上高～営業利益）

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期実績	前期比		5/14予想比		為替レート影響額	
		増減	率(%)	増減	率(%)	前期比	5/14予想比
宝 酒 造	75,135	1,875	+2.6	▲ 622	▲ 0.8	-	-
宝酒造インターナショナルグループ	40,477	2,950	+7.9	300	+0.7	▲ 756	294
タカラバイオグループ	16,450	▲ 919	▲ 5.3	▲ 678	▲ 4.0	▲ 229	200
その他	15,770	▲ 301	▲ 1.9	▲ 159	▲ 1.0	-	-
調整額	▲ 10,331	▲ 90	-	▲ 137	-	2	▲ 0
売上高	137,502	3,514	+2.6	▲ 1,297	▲ 0.9	▲ 983	494
売上原価	84,468	3,136	+3.9	▲ 31	▲ 0.0		
売上総利益	53,033	378	+0.7	▲ 1,266	▲ 2.3		
運送費	5,206	279	+5.7	▲ 193	▲ 3.6		
広告宣伝費	952	▲ 456	▲ 32.4	▲ 47	▲ 4.8		
販売促進費	17,011	551	+3.4	▲ 188	▲ 1.1		
研究開発費	2,057	▲ 229	▲ 10.0	▲ 142	▲ 6.5		
管理費、その他	20,182	768	+4.0	82	+0.4		
販売費及び一般管理費	45,410	914	+2.1	▲ 489	▲ 1.1		
宝 酒 造	2,082	▲ 193	▲ 8.5	▲ 210	▲ 9.2		
宝酒造インターナショナルグループ	1,565	▲ 869	▲ 35.7	▲ 881	▲ 36.0		
タカラバイオグループ	3,035	411	+15.7	117	+4.0		
その他	1,081	126	+13.3	119	+12.5		
調整額	▲ 140	▲ 10	-	79	-		
営業利益	7,623	▲ 535	▲ 6.6	▲ 776	▲ 9.2		

2020年3月期 第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期累計期間 連結損益計算書（営業利益～四半期純利益）

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期実績	前期比		5/14予想比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
営業利益	7,623	▲ 535	▲ 6.6	▲ 776	▲ 9.2
受取利息・配当金	472	69	+17.3	92	+24.3
その他営業外収益	387	184	+90.5	267	+222.9
営業外収益	859	253	+41.9	359	+71.9
支払利息	203	21	+11.6	23	+13.1
その他営業外費用	408	69	+20.5	188	+85.6
営業外費用	612	90	+17.4	212	+53.0
経常利益	7,871	▲ 372	▲ 4.5	▲ 628	▲ 7.4
特別利益	40	32	+420.7	30	+303.4
特別損失	291	12	+4.5	▲ 18	▲ 6.0
税金等調整前四半期純利益	7,620	▲ 352	▲ 4.4	▲ 579	▲ 7.1
法人税、住民税及び事業税	2,288	▲ 370	▲ 13.9	▲ 264	▲ 10.2
法人税等調整額	46	241	-		
四半期純利益	5,285	▲ 223	▲ 4.1	▲ 314	▲ 5.6
非支配株主に帰属する四半期純利益	911	▲ 18	▲ 2.0	▲ 88	▲ 8.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,374	▲ 204	▲ 4.5	▲ 225	▲ 4.9



5

2020年3月期 第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期末 連結貸借対照表

(百万円)

	2019年3月末	2019年9月末	増減		2019年3月末	2019年9月末	増減
流動資産	175,011	161,139	▲ 13,872	流動負債	57,822	53,245	▲ 4,576
現金及び預金	49,415	42,882	▲ 6,533	支払手形及び買掛金	16,374	15,348	▲ 1,026
受取手形及び売掛金	59,780	59,387	▲ 392	借入金・社債	9,960	9,690	▲ 269
有価証券	16,089	7,136	▲ 8,953	その他	31,487	28,206	▲ 3,280
たな卸資産	46,035	46,984	949	固定負債	49,489	45,375	▲ 4,113
その他	3,690	4,748	1,058	借入金・社債	30,415	25,479	▲ 4,935
固定資産	112,094	116,236	4,141	その他	19,073	19,895	822
有形固定資産	60,576	66,751	6,174	負債合計	107,311	98,620	▲ 8,690
無形固定資産	19,914	18,630	▲ 1,284	株主資本合計	139,064	139,919	855
のれん	12,400	11,608	▲ 791	資本金・資本剰余金	15,643	15,643	-
その他	7,514	7,021	▲ 492	利益剰余金	124,788	125,644	855
投資その他資産	31,603	30,854	▲ 748	自己株式	▲ 1,368	▲ 1,368	▲ 0
投資有価証券	26,143	26,299	156	その他包括利益累計額	9,133	7,148	▲ 1,984
その他	5,459	4,554	▲ 904	非支配株主持分	31,597	31,686	89
資産合計	287,106	277,375	▲ 9,730	純資産合計	179,795	178,754	▲ 1,040

第2四半期累計期間 設備投資額、減価償却費、のれん償却費

	2020年3月期 第2四半期実績	前期比		5/14予想比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
設備投資額（有形・無形）	8,421	+5,818	+223.5		
減価償却費（有形・無形）	3,364	+181	+5.7	+64	+2.0
のれん償却費	424	▲ 5	▲ 1.3	+4	+1.0



6

2020年3月期 第2四半期（累計）宝ホールディングス（連結）業績

第2四半期累計期間 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	増減
営業キャッシュ・フロー	4,140	▲ 345	▲ 4,485
税金等調整前四半期純利益	7,972	7,620	▲ 352
減価償却費等	3,655	3,789	133
運転資本の増減	▲ 3,546	▲ 7,435	▲ 3,888
法人税等の支払額	▲ 4,543	▲ 2,918	1,624
その他	602	▲ 1,400	▲ 2,003
投資キャッシュ・フロー	▲ 4,653	▲ 1,922	2,730
有形・無形固定資産の取得	▲ 3,956	▲ 4,830	▲ 873
その他	▲ 697	2,907	3,604
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 512	▲ 2,267	▲ 1,754
財務キャッシュ・フロー	▲ 3,851	▲ 9,214	▲ 5,362
有利子負債の増減	▲ 257	▲ 5,116	▲ 4,859
自己株式の取得による支出	▲ 0	▲ 0	0
配当金の支払額	▲ 3,405	▲ 3,920	▲ 514
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	▲ 82	-	82
その他	▲ 105	▲ 178	▲ 72
現金及び現金同等物為替換算差額	▲ 744	▲ 773	▲ 28
現金及び現金同等物増減	▲ 5,109	▲ 12,256	▲ 7,146
現金及び現金同等物期首残高	49,341	48,580	▲ 760
現金及び現金同等物期末残高	44,231	36,324	▲ 7,907



7

2020年3月期 第2四半期（累計）宝酒造 業績

第2四半期累計期間 損益計算書（売上高～営業利益）

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期実績	前期比		5/14予想比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
焼酎	24,976	▲ 1,802	▲ 6.7	▲ 707	▲ 2.8
清酒	8,302	▲ 97	▲ 1.2	▲ 392	▲ 4.5
ソフトアルコール飲料	21,744	2,058	+10.5	▲ 585	▲ 2.6
その他酒類	3,259	74	+2.3	174	+5.7
本みりん	7,197	727	+11.2	479	+7.1
その他調味料	5,140	480	+10.3	119	+2.4
原料用アルコール等	4,514	435	+10.7	289	+6.9
売上高	75,135	1,875	+2.6	▲ 622	▲ 0.8
売上原価	45,586	1,441	+3.3	29	+0.1
売上総利益	29,549	433	+1.5	▲ 651	▲ 2.2
運送費	3,962	352	+9.8	▲ 50	▲ 1.3
広告宣伝費	875	▲ 324	▲ 27.1	▲ 59	▲ 6.3
販売促進費	16,431	585	+3.7	▲ 234	▲ 1.4
研究開発費	195	16	+9.1	▲ 41	▲ 17.4
管理費、その他	6,002	▲ 2	▲ 0.0	▲ 54	▲ 0.9
販売費及び一般管理費	27,467	627	+2.3	▲ 440	▲ 1.6
営業利益	2,082	▲ 193	▲ 8.5	▲ 210	▲ 9.2

第2四半期累計期間 売上総利益増減 内訳

※利益の増加要因を「+」、減少要因を「△」で表示

	前期比増減			5/14予想比増減			
	数量差	単価差		数量差	単価差		
売上総利益 計	+433	+664	▲ 230	▲ 651	▲ 106	▲ 545	
主な内訳	焼酎	▲ 751	▲ 703	▲ 48	▲ 278	▲ 224	
	清酒	▲ 74	▲ 7	▲ 66	▲ 172	▲ 118	
	ソフトアルコール飲料	+755	+762	▲ 6	▲ 179	▲ 169	
	本みりん	+385	+417	▲ 31	+257	+215	
(参考) 原価コストダウン	▲ 526	※上記数量差および単価差を含む			▲ 210	※上記数量差および単価差を含む	



8

2020年3月期 第2四半期（累計）宝酒造インターナショナルグループ 業績

第2四半期累計期間 損益計算書（売上高～営業利益）

（百万円）

	2020年3月期 第2四半期実績	前期比		5/14予想比		為替レート影響額	
		増減	率(%)	増減	率(%)	前期比	5/14予想比
海外酒類	5,433	389	+7.7	267	+5.2	▲45	56
海外日本食材卸	36,097	2,637	+7.9	27	+0.1	▲702	253
その他	179	143	+396.9	142	+385.0	-	-
連結消去	▲1,233	▲219	-	▲137	-	▲8	▲15
売上高	40,477	2,950	+7.9	300	+0.7	▲756	294
売上原価	28,994	2,664	+10.1	838	+3.0		
売上総利益	11,483	286	+2.6	▲537	▲4.5		
運送費	1,203	128	+11.9	▲110	▲8.4		
広告宣伝費	40	▲11	▲22.0	▲8	▲16.3		
販売促進費	334	39	+13.5	27	+9.0		
管理費、その他	8,338	999	+13.6	434	+5.5		
販売費及び一般管理費	9,918	1,155	+13.2	344	+3.6		
海外酒類	983	71	+7.8	79	+8.8		
海外日本食材卸	1,367	▲872	▲39.0	▲1,013	▲42.6		
その他	▲364	116	-	242	-		
連結消去	▲420	▲183	-	▲189	-		
営業利益	1,565	▲869	▲35.7	▲881	▲36.0		

2. 2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期 宝ホールディングス 通期 連結業績予想

通期予想 連結損益計算書 (売上高～当期純利益)

(百万円)

	2020年3月期 通期予想	前期比		5/14予想比		為替レート影響額	
		増減	率(%)	増減	率(%)	前期比	5/14予想比
宝 酒 造	157,787	5,329	+3.5	▲ 1,218	▲ 0.8	-	-
宝酒造インターナショナルグループ	81,546	3,711	+4.8	▲ 1,949	▲ 2.3	▲ 3,843	▲ 1,370
タカラバイオグループ	33,900	▲ 1,941	▲ 5.4	▲ 2,100	▲ 5.8	▲ 959	▲ 96
その他の	31,985	▲ 757	▲ 2.3	▲ 747	▲ 2.3	-	-
調整額	▲ 21,218	213	-	14	-	13	7
売上高	284,000	6,556	+2.4	▲ 6,000	▲ 2.1	▲ 4,789	▲ 1,460
売上原価	173,500	4,805	+2.8	▲ 1,700	▲ 1.0		
売上総利益	110,500	1,750	+1.6	▲ 4,300	▲ 3.7		
運送費	11,000	837	+8.2	▲ 200	▲ 1.8		
広告宣伝費	2,000	▲ 755	▲ 27.4	▲ 500	▲ 20.0		
販売促進費	35,500	1,487	+4.4	▲ 400	▲ 1.1		
研究開発費	4,400	▲ 308	▲ 6.6	▲ 400	▲ 8.3		
管理費、その他	40,100	794	+2.0	▲ 1,300	▲ 3.1		
販売費及び一般管理費	93,000	2,054	+2.3	▲ 2,800	▲ 2.9		
宝 酒 造	5,760	▲ 188	▲ 3.2	▲ 527	▲ 8.4		
宝酒造インターナショナルグループ	3,795	▲ 737	▲ 16.3	▲ 1,205	▲ 24.1		
タカラバイオグループ	6,200	736	+13.5	-	-		
その他の	2,043	88	+4.5	13	+0.6		
調整額	▲ 298	▲ 202	-	219	-		
営業利益	17,500	▲ 304	▲ 1.7	▲ 1,500	▲ 7.9		
経常利益	18,000	▲ 359	▲ 2.0	▲ 1,500	▲ 7.7		
親会社株主に帰属する当期純利益	10,400	▲ 11	▲ 0.1	▲ 300	▲ 2.8		



11

2020年3月期 宝酒造 業績予想

通期予想 損益計算書 (売上高～営業利益)

(百万円)

	2020年3月期 通期予想	前期比		5/14予想比	
		増減	率(%)	増減	率(%)
焼酎	51,281	▲ 2,101	▲ 3.9	▲ 848	▲ 1.6
清酒	22,244	849	+4.0	▲ 352	▲ 1.6
ソフトアルコール飲料	44,070	5,292	+13.6	▲ 690	▲ 1.5
その他の酒類	6,542	59	+0.9	110	+1.7
本みりん	14,250	380	+2.7	270	+1.9
その他の調味料	10,444	729	+7.5	93	+0.9
原料用アルコール等	8,956	119	+1.4	199	+2.3
売上高	157,787	5,329	+3.5	▲ 1,218	▲ 0.8
売上原価	94,951	3,509	+3.8	286	+0.3
売上総利益	62,836	1,820	+3.0	▲ 1,504	▲ 2.3
運送費	8,330	716	+9.4	▲ 9	▲ 0.1
広告宣伝費	1,880	▲ 514	▲ 21.5	▲ 514	▲ 21.5
販売促進費	34,340	1,681	+5.1	▲ 338	▲ 1.0
研究開発費	450	81	+22.2	▲ 25	▲ 5.3
管理費、その他	12,076	43	+0.4	▲ 91	▲ 0.7
販売費及び一般管理費	57,076	2,008	+3.6	▲ 977	▲ 1.7
営業利益	5,760	▲ 188	▲ 3.2	▲ 527	▲ 8.4

売上総利益増減 内訳

※利益の増加要因を「+」、減少要因を「△」で表示

	前期比増減		5/14予想比増減	
		(参考) 原価コストダウン		(参考) 原価コストダウン
売上総利益計	+1,820	▲ 703	▲ 1,504	▲ 589



12

2020年3月期 宝酒造インターナショナルグループ 業績予想

通期予想 損益計算書 (売上高～営業利益)

(百万円)

	2020年3月期 通期予想	前期比		5/14予想比		為替レート影響額	
		増減	率(%)	増減	率(%)	前期比	5/14予想比
海外酒類	11,211	452	+4.2	▲ 46	▲ 0.4	▲ 452	▲ 184
海外日本食材卸	72,535	3,580	+5.2	▲ 1,830	▲ 2.5	▲ 3,425	▲ 1,181
その他	206	143	+228.5	141	+216.9	-	-
連結消去	▲ 2,406	▲ 465	-	▲ 214	-	35	▲ 4
売上高	81,546	3,711	+4.8	▲ 1,949	▲ 2.3	▲ 3,843	▲ 1,370
売上原価	57,887	3,063	+5.6	▲ 558	▲ 1.0		
売上総利益	23,659	648	+2.8	▲ 1,391	▲ 5.6		
運送費	2,520	242	+10.7	▲ 183	▲ 6.8		
広告宣伝費	82	▲ 28	▲ 25.9	▲ 13	▲ 13.7		
販売促進費	750	15	+2.1	9	+1.2		
管理費、その他	16,512	1,155	+7.5	1	+0.0		
販売費及び一般管理費	19,864	1,385	+7.5	▲ 186	▲ 0.9		
海外酒類	2,247	264	+13.3	160	+7.7		
海外日本食材卸	3,058	▲ 863	▲ 22.0	▲ 1,615	▲ 34.6		
その他	▲ 865	70	-	448	-		
連結消去	▲ 645	▲ 208	-	▲ 198	-		
営業利益	3,795	▲ 737	▲ 16.3	▲ 1,205	▲ 24.1		

II. 2020年3月期 事業戦略

1. 「宝グループ中期経営計画2019」 進捗状況

「宝グループ中期経営計画2019」（2018年3月期～2020年3月期）

◆基本方針

海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数もつことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができる
バランスのとれた事業基盤を確立する

◆定量目標および通期予想（2020年3月期）

	定量目標	期初予想 (2019/5/14)	修正予想 (2019/11/12)
売上高	2,950億円 以上	2,900億円	2,840億円
営業利益	187億円 以上	190億円	175億円
海外売上高 比率	35.0% 以上	36.0%	35.4%

※2018年5月に定量目標の上方修正を発表

「宝グループ中期経営計画2019」（2018年3月期～2020年3月期）

グループ別		定量目標	期初予想 (2019/5/14)	修正予想 (2019/11/12)
宝酒造	売上高	1,600億円 以上	1,590億円	1,577億円
	営業利益	62億円 以上	62億円	57億円
宝酒造 インターナショナル グループ	売上高	830億円 以上	834億円	815億円
	営業利益	52億円 以上	50億円	37億円
カバロイ グループ	売上高	385億円 以上	360億円	339億円
	営業利益	60億円 以上	62億円	62億円

業績

- 宝グループ連結の売上高は対前期で増収。前期の健康食品事業、キノコ事業の譲渡による減収を宝酒造、宝酒造インターナショナルグループの伸長で補う。
- 営業利益は、タカラバイオグループが増益となるも、原材料価格や仕入コストの上昇、費用の増加による宝酒造、宝酒造インターナショナルグループの減益が大きく、グループ全体で減益。
- 期初予想に対しては、売上、利益ともに下回って推移。

成長投資

- 国内酒類事業のRTD（ソフトアルコール飲料）生産ライン増強を9月までに完了。
- タカラバイオグループのCDMO事業拡大を見据えた新施設を建設、1月に稼働予定。
- 海外日本食材卸事業ではミューチャルトレーディングの物流倉庫拡充に向けた投資を継続。

事業戦略の転換

- タカラバイオグループの遺伝子医療事業で、「腫瘍溶解性ウイルスC-REV」の開発計画を変更し、すい臓がんを対象とした開発にいっそう注力する方針へ。

II. 2020年3月期 事業戦略

2. 宝酒造（国内事業）

事業計画の進捗状況（宝酒造）

◆当期の事業戦略

- 清酒、焼酎、調味料の各カテゴリで、技術で差異化された商品開発に引き続き注力し、市場シェアをさらに高めることで、和酒No.1の確固たるポジションを盤石化する。
- 缶入りチューハイのパイオニアとして、樽貯蔵熟成酒等の強みを活かしたブランドの育成と積極的な新商品の投入により、RTD市場において、独自のポジションを構築する。

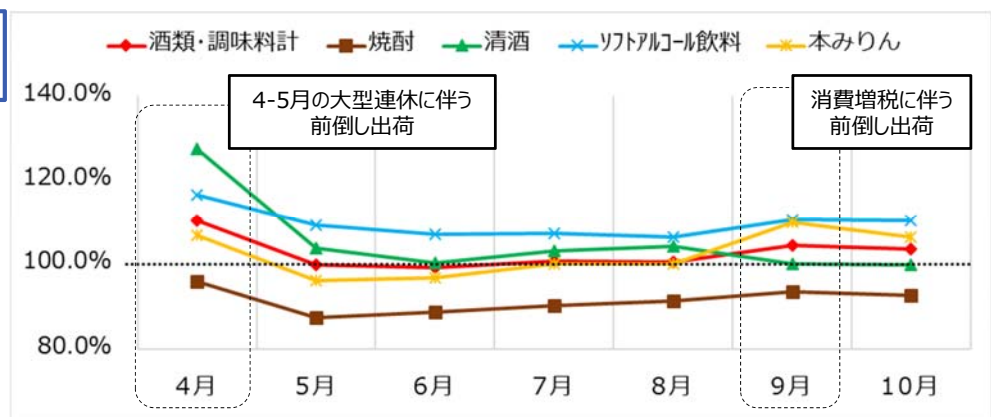
2020年3月期上期 概況

- 前期に対しては、焼酎の減少が続くも、ソフトアルコール飲料（RTD）が引き続き好調。調味料や原料用アルコール等も増収、清酒もほぼ前期並みとなり、全体で増収。さらなる増収を目指した期初計画に対しては未達。
- 消費税増税施行前の9月には駆け込み需要が発生したが、下期への影響は限定的。
- 清酒は「天」が好調に推移したものの、「零」や「豪快」が前年を下回る。
- ソフトアルコール飲料（RTD）は、タカラ「焼酎ハイボール」や「極上レモンソー」が好調。
- 焼酎は主力の甲類大型容器や乙類焼酎が大きく落ち込む。
- 利益面では、原価コストアップの影響が大きく、営業利益は減益に。



宝酒造 上期の販売状況

販売数量推移
(4月からの累計/前年比)



(参考) 4-8月累計*

カテゴリ別
数量前年比
(4-10月累計)

	4-10月累計
焼酎	92.7%
清酒	99.8%
ソフトアルコール飲料(RTD)	110.4%
本みりん	106.5%
酒類・調味料計	103.5%

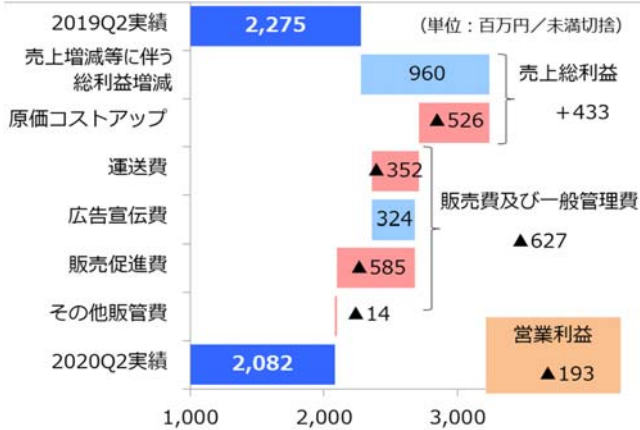
	宝酒造	市場全体
焼酎	91.3%	94.1%
清酒	104.2%	96.5%
ソフトアルコール飲料(RTD)	110.1%	109.0%
本みりん	100.0%	97.8%
酒類・調味料計	100.5%	-

*ソフトアルコール飲料は1-6月累計の前年比。市場データは業界団体等の情報に等に基づく推計値。

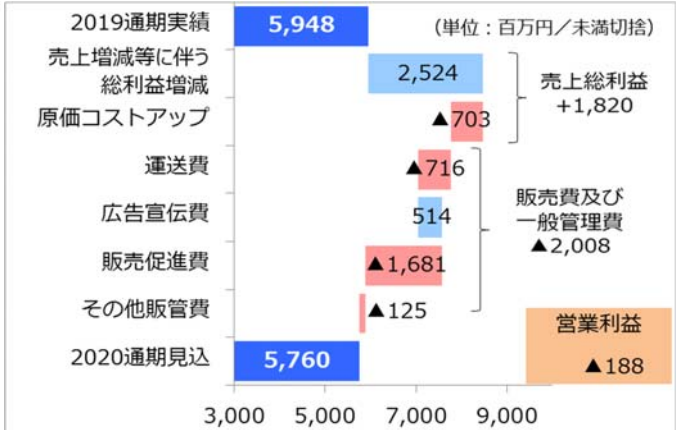


宝酒造 営業利益増減要因

上期実績 (対前期)



通期見込 (対前期)



利益減少の主な要因 (通期見込)

- ① 減価償却費の増加による原価コストアップ (▲5.2億円)
- ② ①以外の要因による原価コストアップ (NET▲1.7億円)
- ③ 販売促進費の増加 (▲5.4億円*)
- ④ 運送費の増加 (▲4.5億円*)

*売上増加に伴う費用増加分を除く

売上高の拡大

原材料等コストダウン

販管費の抑制



宝酒造 下期の事業戦略

◆焼酎

【甲類】レモンサワー関連商品への注力継続と中小容量対応のラインアップ強化

【乙類】「一刻者」の品質訴求強化と「一刻者ハイボール」ラインアップ拡充



◆清酒

【霽】季節限定品を含めたラインアップ拡充

【天】多様化するユーザーニーズへの対応強化



◆ソフトアルコール飲料 (RTD)

既存ブランドの拡充と、「抹茶関連商品」による新市場の創出



◆調味料 (本みりん・料理清酒)

「国産米100%」、「もち米100%」、「米麴」、「糖質ゼロ」など分かりやすい付加価値を訴求



II. 2020年3月期 事業戦略

3. 宝酒造インターナショナルグループ (海外事業)

事業計画の進捗状況（宝酒造インターナショナルグループ）

◆ 当期の事業戦略

- 【海外酒類事業】 清酒を中心に、米国・中国での現地生産による“地の利”を活かした商品展開と、海外専用商品の開発・育成による輸出強化を進める。
- 【海外日本食材卸事業】 未進出エリアへの新規拠点進出や既存拠点の拡充により、さらなる卸ネットワークの拡大を図るとともに、物流効率化によるコストの抑制に取り組む。

2020年3月期上期 概況

- 海外酒類事業は、対前期、計画比ともに増収増益。海外への輸出向けに開発した専用商品（清酒）の販売を開始するなど、施策面でも進捗。
- 海外日本食材卸事業は、売上高は順調に拡大するも、仕入コストの上昇と費用の増加により、利益面では前期、計画をともに大きく下回る。北米のミューチャルトレーディングで進行中の倉庫拡張計画で一部のスケジュールが遅延し、追加費用が発生。

事業概況 <海外酒類事業>

(現地通貨ベース)	20/03期 第2四半期 実績	前期比		5/14予想比		20/03期 通期予想	前期比		5/14予想比	
		増減	率(%)	増減	率(%)		増減	率(%)	増減	率(%)
米 国 宝 酒 造 売 上 高 (千 US ド ル)	18,044	+1,396	+8.4	▲ 15	▲ 0.1	36,140	+2,307	+6.8	▲ 212	▲ 0.6
営 業 利 益	1,741	▲ 365	▲ 17.3	▲ 476	▲ 21.5	4,214	+861	+25.7	+1	+0.0
宝 酒 造 食 品 売 上 高 (千 元)	24,963	+75	+0.3	▲ 370	▲ 1.5	57,405	+1,006	+1.8	▲ 776	▲ 1.3
営 業 利 益	1,226	+16	+1.3	▲ 17	▲ 1.4	4,173	+197	+5.0	+37	+0.9
ト マ ー チ ン 売 上 高 (千 ポ ン ド)	8,778	+690	+8.5	+684	+8.5	19,440	+1,704	+9.6	+546	+2.9
営 業 利 益	1,889	▲ 81	▲ 4.2	▲ 101	▲ 5.1	5,380	+726	+15.6	+273	+5.3
エイジ・インターナショナル 売 上 高 (千 US ド ル)	12,030	+1,349	+12.6	+1,264	+11.7	25,888	+2,242	+9.5	+1,252	+5.1
営 業 利 益	5,326	+1,049	+24.5	+1,056	+24.7	11,105	+1,445	+15.0	+1,348	+13.8

<米国宝酒造>

清酒を中心に売上高はほぼ計画通りに推移しているものの、原料資材の高騰が利益を圧迫。下期から値上げを実施し、通期での利益計画達成を見込む。

<宝酒造食品>

主力の清酒は、日本からの輸入製品は好調だが、現地産の不調が影響し、計画には未達となる見通し。生産効率の改善や販管費の抑制により、利益面での計画達成をめざす。

<トマーチン>

バルク製品を中心に売上高は順調に推移するも、利益率の高いボトル製品がBrexit対策による前倒し出荷の反動もあり不調で、上期時点では利益計画未達の状況。ボトル製品の実販は伸長しており、通期では回復する見通し。

<エイジ・インターナショナル>

米国内への販売が計画を上回って推移しており、通期でも売上高・利益ともに計画を達成する見込み。

事業概況 <海外日本食材卸事業>

(現地通貨ベース)	20/03期 第2四半期 実績	前期比		5/14予想比		20/03期 通期予想	前期比		5/14予想比	
		増減	率(%)	増減	率(%)		増減	率(%)	増減	率(%)
フーデックスグループ 売 上 高 (千 ユ ー ロ)	86,595	+7,907	+10.0	+1,096	+1.3	180,556	+21,060	+13.2	+8,202	+4.8
営 業 利 益	7,851	▲ 1,313	▲ 14.3	▲ 2,294	▲ 22.6	17,479	+612	+3.6	▲ 2,225	▲ 11.3
タザキフーズ 売 上 高 (千 ポ ン ド)	21,935	+2,183	+11.1	+436	+2.0	45,400	+5,390	+13.5	+2,400	+5.6
営 業 利 益	906	▲ 664	▲ 42.3	▲ 580	▲ 39.0	1,999	▲ 658	▲ 24.8	▲ 800	▲ 28.6
ミューチャルトレーディング 売 上 高 (千 US ド ル)	182,369	+17,155	+10.4	▲ 1,988	▲ 1.1	371,484	+30,268	+8.9	▲ 15,015	▲ 3.9
営 業 利 益	3,496	▲ 3,619	▲ 50.9	▲ 4,389	▲ 55.7	7,860	▲ 4,046	▲ 34.0	▲ 8,039	▲ 50.6
ニッポンフード 売 上 高 (千 AUS ド ル)	27,475	+1,264	+4.8	▲ 2,724	▲ 9.0	56,981	+1,510	+2.7	▲ 5,119	▲ 8.2
営 業 利 益	▲ 1,580	▲ 1,891	—	▲ 2,162	—	▲ 2,403	▲ 2,599	—	▲ 3,521	—

<フーデックスグループ>

地域により差異はあるものの、ラーメンなどの人気により売上高は順調に推移。利益面ではユーロ安による仕入コスト上昇や外部倉庫の利用による費用増加が続いており、期初計画には未達となる見通し。

<タザキフーズ>

料飲店やテイクアウェイ店向け販売が好調に推移し、売上高は順調に拡大するが、ポンド安による仕入コスト上昇と、Brexit対策のための在庫増強に伴う運送費の増加が利益を圧迫。

<ミューチャルトレーディング>

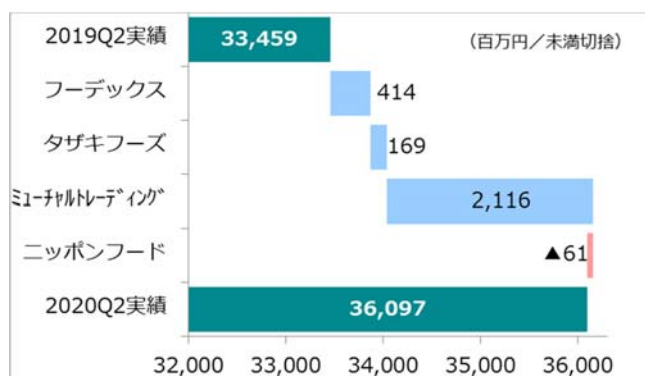
売上高は堅調に推移するも、利益面では前年および期初計画を大きく下回る。対中国の追加関税や競争激化等による売上総利益率の低下と、倉庫費用や人件費をはじめとする販管費の増加が要因。物流拠点の移転・拡張により、今後は物流コスト改善の方向へ。

<ニッポンフード>

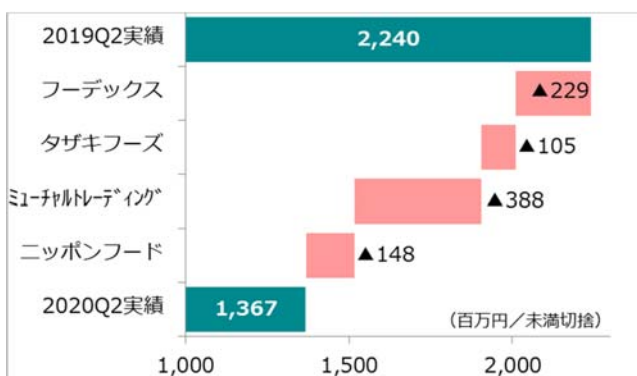
シドニーを中心に競争激化が続いており、売上高は微増に止まる見通し。豪ドル安による仕入コスト上昇、運送費の大幅な増加等が影響し、赤字となる見込み。

事業概況 <海外日本食材卸事業>

売上高増減内訳（前期比）



営業利益増減内訳（前期比）



利益減少の主な要因（上期実績）

- ① 為替換算レートの変動による影響（▲0.5億円）
- ② 為替変動による仕入コストの上昇（▲3.3億円）
- ③ ②以外の仕入コストの上昇（▲2.2億円）
- ④ 人件費、運送費等の増加（▲4.1億円*）

*売上増加に伴う費用増加分を除く

販売価格への転嫁

物流効率の向上

共通購買の推進

II. 2020年3月期 事業戦略

4. 経営基盤の強化

中期経営計画の進捗状況（経営基盤の強化）

基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外での事業拡大に合わせた新規グループ会社の事業基盤強化 ● グローバル規模でのリスクマネジメント推進、品質保証体制強化、IT基盤構築
風土・人財	<ul style="list-style-type: none"> ● 「宝ホールディングス歴史記念館」を活用した人財育成への注力 ● グループ人事戦略の強化 ● 女性・定年退職者の活躍推進継続
CSR	<ul style="list-style-type: none"> ● 「宝ホールディングスコーポレートガバナンスポリシー」に則した体制整備 ● 自然環境保護、リサイクル等の社会貢献・環境活動への取り組み継続 ● 投資環境の動向を踏まえたESG情報開示の推進

取組み状況

- 株主・投資家との対話を踏まえ、本年6月の定時株主総会終結の時をもって、買収防衛策を廃止。また、同定時総会を経て社外取締役を1名増員し、取締役会に占める独立社外取締役の割合を3分の1以上とする体制を構築。
- ESG情報開示に関する現状分析を実施。次期中計でのテーマアップを視野に、当社グループが対応すべきESG課題の選定を進める。

株主還元

財務方針	健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによってROEを向上させ、適正な株価水準を実現する。
アクションプラン	<ol style="list-style-type: none"> ① 優位に資金調達できる環境を捉えた、適時・適切な資金調達の実施 ② 配当方針*に則った配当の実施と、自己株式取得・消却等さらなる株主還元策の検討 ③ 政策保有株式の機動的な売却の検討と、成長投資・株主還元資金への充当によるROE向上策の検討

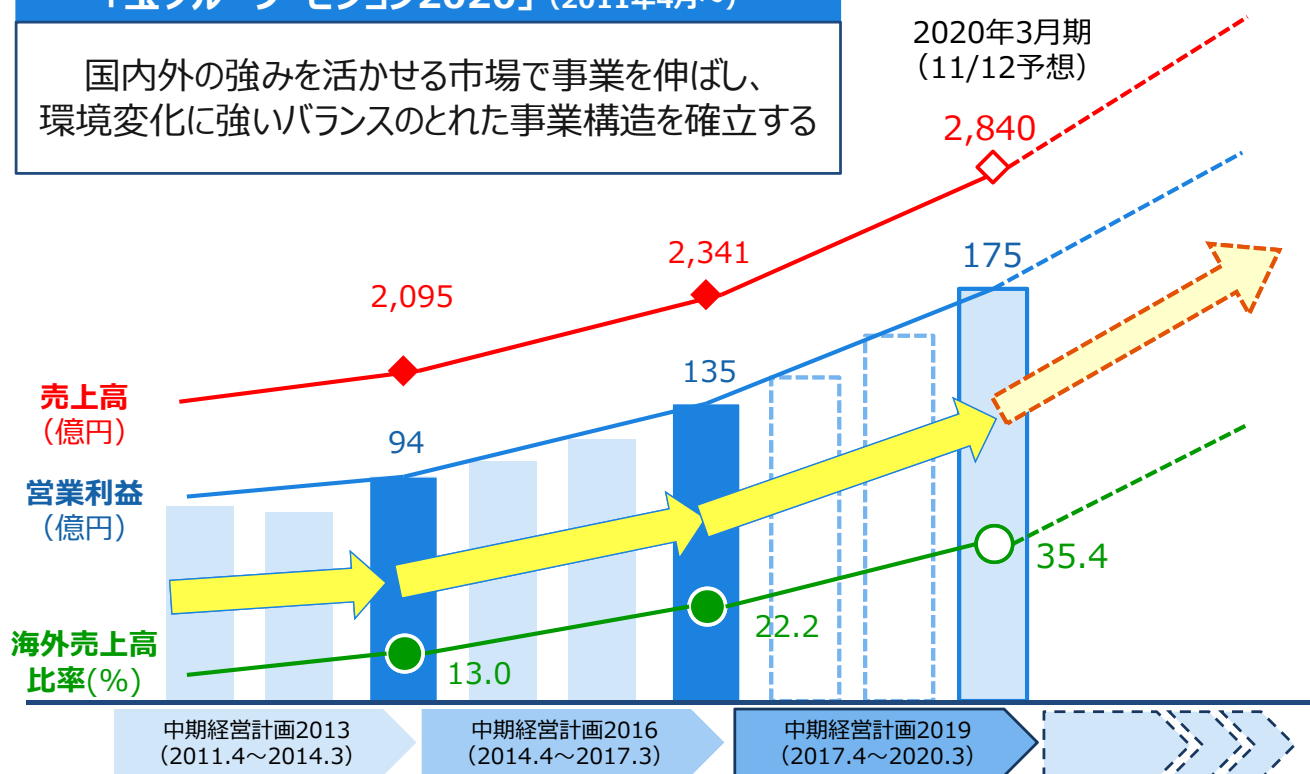
	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 通期予想	中計3か年計 (合計/平均)	自己株式の取得・消却
連結営業利益（百万円）	15,612	17,804	17,500	50,916	<取得> ・ 取得株式数：200万株（上限） （発行済株式総数に対する割合1.00%） ・ 取得総額：20億円（上限） ・ 取得期間：2019/11/18～2020/1/17 <消却> ・ 消却株式数：200万株 （発行済株式総数に対する割合0.99%） ・ 消却日：2020/1/31
1株あたり配当金（円）	16.0	18.0	20.0	-	
配当総額（百万円）	3,194	3,593	3,952	10,740	
みなし配当性向	29.6%	29.3%	32.7%	30.6%	
自己株式取得（百万円）	2,000	-	2,000	4,000	
総還元性向	47.1%	34.5%	57.2%	46.3%	
ROE	7.9%	7.1%	6.9%	7.3%	

*配当方針：みなし配当性向 = 配当総額 / (連結営業利益 × (1 - 法定実効税率)) ≒ 30%

長期経営ビジョン

「宝グループ・ビジョン2020」(2011年4月～)

国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、
環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する



将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

<お問合せ先>

宝ホールディングス株式会社
I R 部

E-Mail ir@takara.co.jp

TEL 075-241-5124

参考資料

- 為替レート
- 粗留アルコール輸入通関（CIF）価格の推移

為替レート

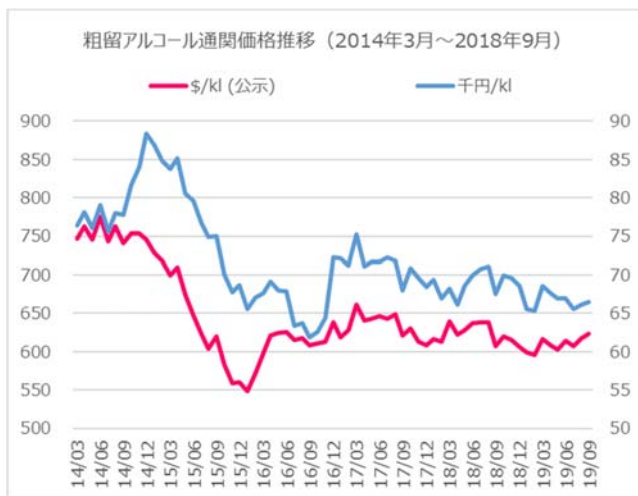
第2四半期（1月～6月）為替レート実績

(単位：円)	2019年3月期 (2018年1月-6月)		2020年3月期 (2019年1月-6月)		
	実績	5/14予想	実績	前期差	5/14予想差
米ドル	108.68	108.00	110.06	+ 1.38	+ 2.06
ポンド	149.62	145.00	142.44	▲ 7.18	▲ 2.56
ユーロ	131.55	125.00	124.32	▲ 7.23	▲ 0.68
人民元	17.09	15.60	16.20	▲ 0.89	+ 0.60
100ウォン	10.10	9.50	9.61	▲ 0.49	+ 0.11
インドルピー	1.66	1.50	1.57	▲ 0.09	+ 0.07
スウェーデンクローナ	12.97	12.40	11.83	▲ 1.14	▲ 0.57
シンガポールドル	81.94	78.30	80.99	▲ 0.95	+ 2.69
オーストラリアドル	83.85	78.00	77.74	▲ 6.11	▲ 0.26

通期（1月～12月）為替レート予想

(単位：円)	2019年3月期 (2018年1月-12月)		2020年3月期 (2019年1月-12月)		
	実績	5/14予想	11/12予想	前期差	5/14予想差
米ドル	110.45	108.00	108.30	▲ 2.15	+ 0.30
ポンド	147.40	145.00	134.50	▲ 12.90	▲ 10.50
ユーロ	130.35	125.00	121.30	▲ 9.05	▲ 3.70
人民元	16.71	15.60	15.60	▲ 1.11	-
100ウォン	10.04	9.50	9.20	▲ 0.84	▲ 0.30
インドルピー	1.62	1.50	1.55	▲ 0.07	+ 0.05
スウェーデンクローナ	12.71	12.40	11.50	▲ 1.21	▲ 0.90
シンガポールドル	81.86	78.30	79.50	▲ 2.36	+ 1.20
オーストラリアドル	82.55	78.00	75.40	▲ 7.15	▲ 2.60

粗留アルコール輸入通関（CIF）価格の推移



	2019年3月期		2020年3月期		前期差	
	千円/kl	\$/kl	千円/kl	\$/kl	千円/kl	\$/kl
4月	66.1	622.2	67.6	608.0	1.5	▲ 14.2
5月	68.5	628.3	66.9	602.2	▲ 1.6	▲ 26.0
6月	70.0	636.9	66.9	613.7	▲ 3.0	▲ 23.2
7月	70.7	638.6	65.6	607.6	▲ 5.1	▲ 31.0
8月	71.1	638.5	66.2	617.4	▲ 4.9	▲ 21.1
9月	67.5	606.8	66.5	623.0	▲ 1.0	▲ 16.2
10月	70.0	619.9			-	-
11月	69.6	615.8			-	-
12月	68.5	605.7			-	-
1月	65.5	598.7			-	-
2月	65.4	596.2			-	-
3月	68.5	616.6			-	-
年間平均	68.5	618.7	66.6	612.0	▲ 1.8	▲ 6.7

(出所：財務省貿易統計、為替レートは税関庁公示レートの月平均値)